

2016 年度第 1 四半期決算

参考和訳

プレスリリース
2016 年 5 月 3 日、パリ発

国内市場部門および国際金融サービス部門の営業収益は底堅く推移

当四半期はとりわけ厳しい市場環境に見舞われる

営業収益: 前年同期比 -2.0%

確かな費用抑制効果

営業費用: 前年同期比 -2.3%

リスク費用は大幅減少

43 bp* (前年同期比 -27.5%)

純利益は増益を果たす

株主帰属純利益: 18 億 1400 万ユーロ (前年同期比 +10.1%)

バーゼル 3 エクイティ TIER 1 比率はさらに上昇**

11.0% (2015 年 12 月末比 +10 bp)

事業成長による着実な自己資本の積上げ

* 貸倒引当金繰入額(純額) / 融資残高; ** 2016 年 3 月末現在。資本要求指令 4(CRD4)を全面適用した比率



2016年5月2日にBNPパリバ取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2016年度第1四半期の業績が検討されました。

当四半期の厳しい環境にも関わらず事業成長による着実な自己資本の積上げ

当四半期中、長引く低金利環境、株式市場の混乱、債券投資家の様子見姿勢など、とりわけ厳しい環境に直面したにも関わらず、顧客ニーズへの対応に照準を合わせた事業の地理的分散化と業態多様化の恩恵を受け、BNPパリバグループの営業収益は底堅く推移しました。

営業収益は当四半期に 108 億 4400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 2.0%の減収でした。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment : OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment : DVA）による影響として、+3 億 6500 万ユーロに上る一時項目が含まれています（対して、前年同期は+3700 万ユーロ）。

事業部門別では、国内市場部門¹および国際金融サービス部門の営業収益が前年同期と比べて底堅く推移しました（国内市場部門では金融手数料の減少で営業収益は前年同期比-0.7%となり、国際金融サービス部門では保険業務が株式市場の波乱のあおりを受けて、営業収益は前年同期比-0.7%となりました）。しかしホールセールバンキング部門（CIB）では、グローバルマーケット業務の営業収益が大幅に減少したため、CIBの営業収益は前年同期比-18.9%（調達評価調整（FVA）の影響を除くと-15.5%）となりました。

営業費用は当四半期に 76 億 2700 万ユーロとなり、コスト抑制策が奏功し前年同期と比べて 2.3%減少しました。当四半期の営業費用には、買収に関わる事業再編費用に加え CIB の事業改編計画に要する費用として、合計で 4600 万ユーロに上る一時的要因が含まれています（前年同期は 2000 万ユーロ）。なお、Simple & Efficient 計画に関わる改編費用は、従来の目標どおり 2015 年度第 4 四半期に最終的な費用計上が行われており、当四半期からは含まれません（2015 年度第 1 四半期は 1 億 1000 万ユーロを計上）。

営業費用を部門別にみると、国内市場部門¹で前年同期比 2.3%増加し、また国際金融サービス部門で 2.2%増加した一方で、CIB では当四半期の業務活動の低下を反映して前年同期比 8.8%減少しました。なお、IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」に基づき、当四半期の営業費用には、2016 年度の銀行業務に関わる拠出金および税金の増加分の全額が含まれています（事業部門の営業費用に対する影響は+1.0%の増加）。当四半期の営業費用は、Simple & Efficient 計画の成果の恩恵を受ける一方で、新規制の実施やコンプライアンス体制の強化による影響を織り込んでいます。

これらを受けて、グループの営業総利益は当四半期に前年同期比 1.2%減少し、32 億 1700 万ユーロとなりました。

一方リスク費用は当四半期に大幅に減少しました。これにはとりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、およびイタリアで状況改善が認識されたことが貢献しました。当四半期のリスク費用は 7 億 5700 万ユーロとなり（前年同期は 10 億 4400 万ユーロ）、融資残高の 43bp 相当でした。

営業外損益は当四半期に+1 億 7800 万ユーロの利益となりました。（前年同期は+3 億 3900 万ユーロでしたが、これにはクレピエールとコリオの合併により生じた希薄化を引き起こす一過性のキャピタルゲインが+6700 万ユーロ計上されたことに加え、非戦略的投資先に対する持分の売却益+9400 万ユーロが寄与していました）。

これらを受けて、当四半期の税引前利益は 26 億 3800 万ユーロとなり、前年同期の 25 億 5200 万ユーロと比べて+3.4%増加しました。

以上から、当四半期の株主帰属純利益は 18 億 1400 万ユーロに上り、前年同期と比べて 10.1%の増益を果たしました。なお一時項目を除くと、当四半期の株主帰属純利益は 16 億 700 万ユーロに上り、前年同期比+4.0%の増益になります。

¹ 国内市場部門のプライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）

当四半期の自己資本利益率は、一時項目を除いた年率換算後で **9.4%** となりました。また、有形自己資本利益率は、一時項目を除いた年率換算後で **11.2%** でした。なお、エクイティ Tier 1 比率 **10%** を前提に算定した自己資本利益率は年率換算後で **10.1%** に上りますが、これは **2014-2016** 年度事業計画の目標に沿う水準です。

2016 年 **3** 月末現在、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率¹ は **11.0%** となり、**2015** 年 **12** 月末の水準から **10bp** の上昇を果たしたことにより、グループが事業成長を通して着実に自己資本を積上げていることを証明しました。バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率² は **2016** 年 **3** 月末現在で **4.0%** となり、**2015** 年 **12** 月末の水準から安定推移しました。

流動性カバレッジ比率 (LCR) は **2016** 年 **3** 月末現在で **116%** となりました。また、グループの即時利用可能な余剰資金は **2016** 年 **3** 月末に **2980** 億ユーロに上っており (対して、**2015** 年 **12** 月末現在は **2660** 億ユーロ)、これは短期資金調達との関係で **1** 年以上の余裕資金があることを意味します。

1 株当たり純資産額は **2016** 年 **3** 月末現在で **71.7** ユーロに上り、**2008** 年 **12** 月末からの年平均成長率は **6.4%** に相当します。これは、グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を有していることを証明しています。

さらに、グループは、米司法当局との包括的和解の一環として合意された是正計画を積極的に実施するとともに、コンプライアンスおよび内部統制手続きの強化を継続しています。

*
* *

¹ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4 (CRD4) 規則を考慮した比率

² 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会 (EC) 委任法令に基づき算定された比率

リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

欧州経済の穏やかな回復を背景に、国内市場部門の融資残高は当四半期に前年同期と比べて 1.2%増加しました。預金残高は、国内ネットワークの全体にわたり着実に伸びたことから、前年同期比 3.9%増加しました。Hello Bank! は引き続き事業開発を押し進めた結果、当四半期に 103,000 口座に上る新規顧客を獲得しました。さらに、アルバルでは、2015 年 11 月に買収した欧州の GE Fleet Leasing Services の統合を積極的に実施しました。

営業収益¹は当四半期に 39 億 6300 万ユーロとなり、前年同期と比べて-0.7%の微減となりました。これには長引く低金利環境に加え、当四半期の極めて困難な市場環境から国内ネットワーク全体にわたり金融手数料が減少したことが響きました。それでも、ベルギー国内リテールバンキングおよび専門的金融業務が好業績を収め、これらの部門の営業収益は増収を果たしました。

営業費用¹は当四半期に 28 億 1800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 2.3%増加しました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと増加幅は 1.5%になりますが、その主要因として専門的金融業務の事業開発がありました。

これらを受けて、営業総利益¹は前年同期から 7.3%減少して 11 億 4500 万ユーロとなりました。

それでもリスク費用は、低金利環境の恩恵を受けて国内ネットワーク全体にわたり減少しました。とりわけ BNL バンカ・コメルシアレでは、期待どおりの水準へと低下しました。

以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を、国内市場部門からウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当四半期の税引前利益²は前年同期比 3.7%の増益となり、6 億 9000 万ユーロに上りました。

フランス国内リテールバンキング (FRB)

フランス国内リテールバンキング (FRB) の融資残高は、当四半期終盤にローンの設定が増加したものの、繰上返済の影響を受けて前年同期比 2.7%減少しました。FRB は、取扱高の成長を加速させるために、引き続き提供する商品群の拡充に努めました。預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し、前年同期比 1.5%増加しました。BNP Paribas Entrepreneurs は起業家を支援するプログラムとして 2015 年度に成功を収めましたが、これを受けて 2016 年度に更新され、特に 100 億ユーロの資金が用意されていることは注目に値します。

営業収益³は当四半期に 16 億 4300 万ユーロとなり、前年同期と比べて 1.8%の減収でした。純利息収入は、長引く低金利環境の影響で、当四半期に 0.7%減少しました。手数料収入に関しては、当四半期に市場環境が極めて不利な展開となったため、金融手数料の減少が響いて前年同期比 3.3%減少しました。

営業費用³は、租税および規制絡みの費用が増えたにも関わらず、コスト抑制策が奏功して当四半期は前年同期比+0.8%の微増に抑えられました。

これらを受けて、営業総利益³は当四半期に 4 億 7000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 7.8%減少しました。

リスク費用³は、前年同期から 1500 万ユーロ減少して当四半期に 7300 万ユーロとなったことが示すように、依然として低い水準にあり、融資残高の 21bp でした。

¹ フランス (PEL/CEL の影響を除く)、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む

² PEL/CEL の影響を除く

³ フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む (PEL/CEL の影響を除く)



以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益¹は当四半期に3億5900万ユーロとなり前年同期比-5.6%の減益でしたが、当四半期中の厳しい市場環境にあっても確かな粘り強さを証明しました。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

経済環境が穏やかに改善するなか、BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の融資残高は、特に個人顧客からの借入需要が復調にあったことから、前年同期と比べて+0.1%の微増を果たしました。預金残高は、個人顧客の当座預金の急増を受けて、当四半期に11.7%増加しました。BNL bcはオフバランス貯蓄商品で好業績を収め、生命保険残高は2015年3月末比10.1%増加し、またミューチュアルファンドの残高は7.2%の増加を果たしました。プライベート・バンキング業務は引き続き事業開発を押し進めた結果、当四半期の資金流入は12億ユーロに上りました。

営業収益²はそれでも前年同期から8.9%減少し、当四半期は7億3700万ユーロとなりました。純利息収入は前年同期比10.8%減少しましたが、これには長引く低金利環境や上位法人顧客向け融資の見直しをしたことが影響しました。手数料収入は、当四半期の金融市場が極めて厳しい相場展開となったことから金融手数料が苦戦し、前年同期と比べて5.2%の減収となりました。

営業費用²は当四半期に4億6200万ユーロとなり、前年同期から0.5%減少しました。なお、業務効率改善策が奏功したおかげで、銀行に課される拠出金や税金の増額の影響を除くと、営業費用の減少幅は0.8%になります。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に2億7500万ユーロとなり、前年同期と比べて20.3%減少しました。

リスク費用²は当四半期も減少傾向をたどり、前年同期から4700万ユーロ減少したことから、融資残高の142bp相当となりました。その背景には、貸出ポートフォリオの質が徐々に改善するとともに不良債権残高が縮小してきたことがあります。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前損益は800万ユーロの損失となりました（前年同期は1300万ユーロの利益）。

ベルギー国内リテールバンキング

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期に好業績を収めました。融資残高は、住宅ローンの需要が特に旺盛で個人顧客向け融資が伸びたことに加え、中小企業 (SME) 向け融資も伸びたため、当四半期に前年同期比4.5%増加しました。一方、預金残高は、とりわけ当座預金が高い伸びを示し、前年同期から4.1%増加しました。BRBはデジタルバンキングの開発を継続するとともに、プリペイドカードの管理用アプリを導入することで、新たなカスタマー・エクスペリエンスを提供しました。

営業収益³は前年同期比2.3%の増収となり、9億1700万ユーロに上りました。純利息収入は、融資残高の増加に加えてマージンが底堅く推移したことから、前年同期比5.6%増加しました。一方、手数料収入は、当四半期中の波乱相場を受けて金融手数料が減少したため、当四半期に6.7%減少しました。

営業費用³は、前年同期と比べて2.3%増加して7億9100万ユーロに上りました。なお、銀行に課される拠出金や税金の増額分の影響を除くと、増加幅は1.2%になります。

営業総利益³は当四半期に1億2600万ユーロに上り、前年同期と比べて2.3%増加しました。

¹ PEL/CELの影響を除く

² イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む

³ ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む



当四半期のリスク費用¹は 2100 万ユーロで融資残高の 9bp 相当となり、極めて低い水準でした。また、前年同期の水準からは 1300 万ユーロ減少しました。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に 8800 万ユーロに上り、前年同期と比べて 47.7% の大幅増益を果たしました。

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング）

国内市場部門の専門的金融業務は、当四半期も意欲的に事業展開を押し進めました。アルバルではファイナンス・フリートが内部成長を通して高い伸びを遂げ（前年同期比+10.6%²）、欧州におけるリーダー的地位を確認しました。アルバルはまた、買収した欧州の GE Fleet Leasing Services³ の統合を押し進めました。リーシング・ソリューションズでは、コア業務のファイナンス・リース残高が伸びた一方で、ノンコア資産の継続的な圧縮による影響がこれを一部打ち消しました。個人投資家部門では、新規顧客の獲得が順調に進みました。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、特に住宅ローンの伸びに支えられて、融資残高が前年同期比 2.9% 増加しました。預金残高は、法人顧客セグメントで旺盛な資金流入があったことから、前年同期比 7.5% 増加しました。

営業収益⁴ は、欧州の GE Fleet Leasing Services の買収による効果を計上したため、全体として前年同期比 9.0% 増加して 6 億 6600 万ユーロに上りました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は、アルバル、リーシング・ソリューションズおよびルクセンブルク国内リテールバンキングが牽引し、前年同期比 4.0% の増収を果たしました。

営業費用⁴ は、前年同期から 10.8% 増加して 3 億 9300 万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、かつ銀行に課される拠出金および税金の増額分を除くと、前年同期比 3.6% 増加しましたが、これには事業開発活動が影響していました。

リスク費用⁴ は、前年同期から 1600 万ユーロ減少して 3100 万ユーロとなりました。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら 4 つの業務部門の税引前利益は当四半期に 2 億 5100 万ユーロに上り、前年同期と比べて+18.1% の大幅増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+16.3%）。

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100% を含む

² 連結範囲の変更による影響を除く

³ 買収手続きは 2015 年 11 月 2 日に完了

⁴ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100% を含む

*
* *

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は活発な営業活動を展開しました：パーソナル・ファイナンスは引き続き事業の成長を迫りました；欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストは、営業活動の拡大を持続させました；保険およびウェルス&アセット・マネジメントでは、当四半期の困難な市場環境にも関わらず純資金流入（22億ユーロ）となりました。

営業収益はそれでも前年同期比 **0.7%**減少して **36億 9600万ユーロ**となりましたが、これには為替レートが不利に動いたことが影響していました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は前年同期比**+1.7%**の増収となりました。その主な要因として、波乱相場が当四半期に保険部門の財務諸表に悪影響を及ぼしたにも関わらず、欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストが好業績を上げたことに加え、パーソナル・ファイナンスおよびウェルス&アセット・マネジメントが増収を果たしたことが挙げられます。

営業費用は当四半期に **24億 4200万ユーロ**に上り、前年同期と比べて **2.2%**増加しました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用は事業の成長を反映して **4.1%**増加しました。

これらを受けて営業総利益は **12億 5400万ユーロ**となり、前年同期と比べて **5.9%**減少しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと **2.8%**の減少）。

当四半期のリスク費用は **3億 3900万ユーロ**となり、前年同期から**-26.6%**と大幅に減少しました。

以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は力強い伸びを示し、**10億 5200万ユーロ**に上りました（前年同期比**+6.8%**の増益。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+8.1%**の増益。）

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、当四半期も引き続き意欲的な営業活動に取り組みました。融資残高は、ユーロ圏における借入需要の高まりから前年同期比 **7.4%**¹増加しました。当部門は、欧州の主要な市場（ドイツ、イタリア、およびベルギー）でシェアを拡大しました。またパートナーシップ契約を更新（フランス国内の **M Bricolage** および **Ikea**）するとともに、ドイツではサムスン電子と新たな提携契約に調印しました。さらに、自動車ローンでイタリアのボルボと商業契約の開発を継続しました。

しかし営業収益は、為替相場が不利に働いたことから、当四半期に前年同期比 **1.0%**減少して **11億 4900万ユーロ**となりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は前年同期比 **1.8%**の増収となりました。その背景には、取引高が増加した一方で、より有利なリスクプロファイルをもつ商品へのシフト傾向がこれを一部打ち消したことがあります。とりわけドイツ、イタリアおよびスペインでの増収が、営業収益を押し上げました。

営業費用は前年同期から安定推移し、当四半期に **6億 900万ユーロ**となりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、かつ銀行に課される拠出金および税金の増額分を除くと、営業費用は事業開発を反映して当四半期に **1.9%**増加しました。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に **5億 4000万ユーロ**となり、前年同期比 **2.1%**の減少でしたが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、**0.8%**増加しました。

リスク費用は当四半期に **2億 2100万ユーロ**で融資残高の **149bp**相当となり、前年同期から大幅に減少しました（**7100万ユーロ**の減少）。これには、低金利環境やより有利なリスクプロファイル商品へのシフト傾向が寄与しましたが、さらに、保有する不良債権の売却を受けて当四半期に多額の貸倒引当金戻入益が計上されたことも貢献しました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は 3 億 3300 万ユーロに上り、前年同期比+20.8%の大幅増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+22.5%）。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門の融資残高は、とりわけトルコおよびポーランドの伸びに押されて、当四半期は前年同期比 7.4%¹ 増加しました。一方、預金残高は特にトルコが牽引し、前年同期と比べて 8.0%¹ の増加を果たしました。当部門の積極的な営業活動は、消費者ローンのクロスセリングが力強い伸びを示したことに現れており、特にポーランドでは融資残高が前年同期から 9%¹ 増加しました。また、デジタルバンキングの商品開発でも成果を上げ、トルコでは Cepteteb の導入後わずか 1 年の間に、既に顧客数が 247,000 口座に上っています。

営業収益²は当四半期に 6 億 800 万ユーロとなり、取扱高の増加に沿うかたちで前年同期から 8.4%¹ の増収を果たしました。

営業費用²は 4 億 3200 万ユーロで前年同期から 1.9%¹ の増加に抑えられました。これにはコスト管理が奏功したことに加え、ポーランドでコストシナジー策が実施されたことが貢献しました（ネットワークの合理化により、前年同期と比べて 118 店舗の減少）。

リスク費用²は合計で 9600 万ユーロとなり、融資残高の 100bp 相当と穏やかな水準に留まりました。また、高水準のリスク費用が計上された前年同期と比べると、当四半期は 5300 万ユーロ減少しました。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 1 億 3200 万ユーロに上り、前年同期と比べて+186.5%¹ の激増を果たしました。これは事業の順調な内部成長を反映したものです。

バンクウエスト

バンクウエストは、米国の良好な経済環境を背景に、当四半期も力強い事業展開を押し進めました。融資残高は、法人向け融資および消費者ローンが引き続き伸びたことから、前年同期比 7.5%¹ 増加しました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、前年同期から 5.1%¹ 増加しました。バンクウエストは引き続きプライベート・バンキング業務の拡充を押し進めた結果、2016 年 3 月末の運用資産残高は総額 104 億米ドルに上り、2015 年 3 月末比+16%増加しました。

営業収益³は、取扱高の増加に加え一過性の有価証券売却益を受けて、当四半期は 7 億 7300 万ユーロに上り、前年同期と比べて 14.7%¹ の増収となりました。

営業費用³は当四半期に 5 億 3400 万ユーロとなり、前年同期から 12.5%¹ 増加しました。その要因として、規制コストの上昇（包括的資本分析およびレビュー（Comprehensive Capital Analysis and Review: CCAR）および中間持ち株会社の設立）に加え、ファースト・ハワイアン・バンクの売却手続きに関わる一時的費用が挙げられます。かかる影響を除くと、営業体制の強化（プライベート・バンキングおよび消費者金融業務）に要する費用を反映して、当四半期の営業費用の増加幅は 9.4%¹ となります。

リスク費用³は 2500 万ユーロで融資残高の 16bp 相当となり、依然として極めて低い水準でした。また、前年同期と比べると 500 万ユーロ増加しました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む

³ 米国プライベート・バンキングの 100%を含む

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は2億2100万ユーロの高水準となり、前年同期と比べて+22.8%¹の増益を果たしました。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険およびウェルス&アセット・マネジメントの運用資産残高²は、2015年3月末と比べて2.6%減少し、2016年3月末現在で9440億ユーロとなりました。また、2015年12月末の水準からは100億ユーロ減少しましたが、これには主に以下の要因が作用していました。まずマイナス要因として、第一に、金融市場の下落傾向を受けて運用パフォーマンス効果が-77億ユーロとなり、第二に、当四半期中にユーロ高が進んだため、為替効果が-68億ユーロになったことが挙げられます。その反面、プラス要因として、当四半期中に22億ユーロの純資金流入がありました（ウェルス・マネジメントではとりわけイタリアおよびアジアが牽引し、旺盛な資金流入がありました。アセット・マネジメントではマネーマーケットファンドからの資金流出がありました。分散型ファンドおよび株式ファンドへの資金流入がこれを一部打ち消しました。保険部門ではフランスおよびイタリアで高い資金流入がありました）。

2016年3月末現在、保険およびウェルス&アセット・マネジメントの運用資産残高²の部門別内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは3810億ユーロ；ウェルス・マネジメントは3250億ユーロ；保険部門は2170億ユーロ；不動産管理部門は220億ユーロ。

保険部門では、営業収益は当四半期に4億5600万ユーロとなり、前年同期と比べて20.8%の減収でした。保険部門の営業収益の一部は時価評価して計上されるため、当四半期の営業収益にはその時々の金融市場の下落による影響が反映されたのに対し、2015年度第1四半期の営業収益には、株式相場の急上昇による影響が反映されていました。それでも当部門の営業活動が成果を上げ、収入保険料が連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いて+1.0%増加しました。営業費用は当四半期に3億900万ユーロとなり、事業開発および規制コストの上昇を反映して、前年同期比2.7%増加しました。以上から、税引前利益は1億9900万ユーロとなり、前年同期と比べて37.1%の減益でした。

ウェルス&アセット・マネジメント部門では、営業収益は厳しい市場環境にも関わらず底堅く推移した結果、当四半期に7億2300万ユーロとなり前年同期比+0.3%の増収を果たしました。営業費用は5億6700万ユーロに上りましたが、コスト管理が奏功し前年同期比+0.1%の微増に抑えられました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国からプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に1億6700万ユーロとなり、前年同期と比べて1.7%の増益を果たしました。

*
* *

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 分配金を含む

ホールセールバンキング事業 (CIB)

ホールセールバンキング事業 (CIB) の営業収益は、欧州の極めて厳しい市場環境にあって、当四半期は 26 億 8600 万ユーロとなり、非常に有利な市場環境の恩恵を受けた前年同期と比べて 18.9%の減収でした (調達評価調整 (FVA)¹の影響を除くと 15.5%の減収)。

グローバルマーケット部門の営業収益は、第 1 四半期が始まって最初の 2 ヶ月間は投資家の様子見姿勢が強かったため、当四半期に 13 億 1800 万ユーロとなり前年同期比 24.4%²の減収でした。投資家の懸念は、世界景気の行方や銀行業界に対する規制強化に加え、金融政策の不透明性にも及びました。それでも顧客業務は、当四半期の終盤には大幅に回復しました。FICC³ (フィクストインカム・通貨・コモディティ) 業務の営業収益は 8 億 9000 万ユーロとなり、前年同期比 13.2%²減少しました。その主な要因として、為替およびコモディティ業務の活動が低下した半面、金利およびクレジット業務が好調であったことに加え、新発債市場が底堅く推移したことが挙げられます。当部門は新発債市場における地位をさらに強化しました (ユーロ建て全債券で No. 1、また全国際債券で No. 8 にランクインしました)。株式およびプライムサービス業務の営業収益は、欧州の下落相場にあって仕組商品への需要が弱かったことが響き、当四半期に 4 億 2800 万ユーロとなり、極めて高水準を達成した前年同期と比べて 41.2%減少しました。市場リスクを測定するバリュー・アット・リスク (VaR) は、依然として低水準に留まりました (4300 万ユーロ)。

証券管理部門の営業収益は、当四半期に 4 億 4000 万ユーロに上り、前年同期比+0.3%の微増でした。約案件数は前年同期と比べて 16.1%増加したものの、下落相場を受けてカस्टディ業務の預かり資産が目減り (-2.7%) したことが響きました。証券管理部門は当四半期も新規の大型マンドートを獲得しました (Sampo Group との間で預り資産 250 億ユーロの契約)。

コーポレートバンキング部門では、当四半期の業務活動が控えめであったことから、営業収益は 9 億 2900 万ユーロとなり前年同期と比べて 6.0%の減収でした。エネルギー&コモディティ業務の縮小は、2013 年度以来実施され現在はほぼ完了していますが、これによる残余的な影響を除くと、当四半期の営業収益は前年同期比 3.6%の減収でした。その背景には、当四半期に重要なファイナンスおよびアドバイザリー契約があったものの、件数が非常に少なかったため手数料収入が減少したことがあり、トランザクション業務の好調がこれを補うに足りませんでした。コーポレートバンキング部門は、全シンジケートローンで欧州における No. 1 の地位を確認しました。融資残高は当四半期に 1260 億ユーロに上り、前年同期から 5.0%増加しました。預金残高は、キャッシュマネジメント業務で市場シェアを拡大したことから、当四半期は 1100 億ユーロに上り、前年同期と比べて+19.5%の急増を果たしました。

CIB の営業費用は当四半期に 22 億 5800 万ユーロとなりましたが、銀行に課される拠出金や税金の増額にも関わらず前年同期比 8.8%減少したことが示すように、コスト管理が行き届いていました。これには、業務活動の低下に加え、Simple & Efficient 計画によるコスト節減効果や 2016-2019 年度事業改編計画の実施が影響していました。

CIB のリスク費用は前年同期から 6800 万ユーロ減少して、当四半期は 2800 万ユーロとなりました。コーポレートバンキング部門のリスク費用は 5500 万ユーロの低水準に留まり、融資残高の 19bp 相当でした。グローバルマーケット部門は、当四半期に相殺後で 2700 万ユーロの引当金戻入益を計上しましたが、これに対し前年同期は 2300 万ユーロの引当金繰入額を計上しました。

当四半期の営業外項目は僅少に留まりました。これに対し前年同期には、非戦略的な投資先の持分売却に伴う一過性のキャピタルゲイン 7400 万ユーロを計上したことに加え、通常業務におけるキャピタルゲインも高水準で推移したことから、営業外損益は 1 億 4400 万ユーロの利益となりました。

以上から、CIB の税引前利益は当四半期に 4 億 300 万ユーロとなり、前年同期と比べて 54.5%の減益でした。なお、IFRIC 解釈指針第 21 号⁴および FVA による影響を除くと、当四半期の税引前利益は 7 億 6800 万ユーロで前年同期比 23.4%⁵の減益となります。

¹ 調達評価調整 (Funding Valuation Adjustment : FVA) の影響 : 2016 年度第 1 四半期は -5700 万ユーロ (2015 年度第 1 四半期は +6800 万ユーロ)

² FVA の影響を除く

³ Fixed Income, Currencies, and Commodities

⁴ IFRIC 第 21 号に基づき 2016 年度通期に関わる特定の税金および拠出金の全額を第 1 四半期に計上

⁵ 2015 年度第 1 四半期に計上された一過性のキャピタルゲイン 7400 万ユーロの影響を除く

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は当四半期に 6 億 1800 万ユーロとなりましたが、これに対して前年同期は 2 億 900 万ユーロでした。当四半期の営業収益にはとりわけ、自己負債の再評価に関わる修正額 (Own Credit Adjustment : OCA) およびデリバティブに関わる債務価値調整額 (Debt Value Adjustment : DVA) による影響として+3 億 6500 万ユーロが織り込まれていました (前年同期は+3700 万ユーロ)。加えて、プリンシパル・インベストメントの事業活動から高い収益貢献がありました。

営業費用は当四半期に 1 億 8200 万ユーロとなりましたが、これに対して前年同期は 2 億 5800 万ユーロでした。当四半期の営業費用には、買収¹に関わる事業再編費用 2300 万ユーロに加え (前年同期は 2000 万ユーロ)、CIB の事業改編費用 2200 万ユーロが含まれていました (前年同期はゼロ)。なお、当四半期から Simple & Efficient 計画に関わる改編費用は含まれません (前年同期は 1 億 1000 万ユーロ) : 従来の目標どおり、同計画に関わる最終的な費用が 2015 年度第 4 四半期に計上されました。

リスク費用は当四半期に 900 万ユーロとなりました (前年同期は僅少)。

営業外損益は当四半期に+3100 万ユーロの利益となりましたが、これに対して前年同期は+9100 万ユーロの利益でした。なお、前年同期の営業外損益には合計で+8700 万ユーロに上る一時項目が含まれていました (クレピエールとコリオの合併により生じた希薄化を引き起こすキャピタルゲインが+6700 万ユーロ、および、非戦略的な投資先の持分売却により生じたキャピタルゲインのうち、コーポレート・センターで計上された+2000 万ユーロ²)。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に+4 億 7500 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は+4300 万ユーロでした。

*
* *

財務構造

グループは盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率³は 2015 年 12 月末の水準から 10bp 上昇し、2016 年 3 月末現在で 11.0%になりました。これには基本的に当四半期の業績が貢献しており (配当性向 45%を考慮後)、さらに IFRIC 第 21 号⁴の適用による季節的マイナス要因 (-9bp) を考慮後であることは留意に値します。

バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率⁵は Tier 1 資本全部に基づき算定されますが、同比率は 2016 年 3 月末現在で 4.0%となり、2015 年 12 月末の水準から安定推移しました。

流動性カバレッジ比率は 2016 年 3 月末現在、116%に達していました。

グループの即時利用可能な余剰資金は 2016 年 3 月末現在、2980 億ユーロに上りました (対して、2015 年 12 月末は 2660 億ユーロ)。これは短期資金調達との関係で 1 年以上の余裕資金があることを意味します。

¹ LaSer, Bank BGZ 銀行、DAB バンク、および GE LLD

² 加えて、CIB のコーポレートバンキング部門で+7400 万ユーロを計上

³ 経過措置なしで全ての資本要求指令 (CRD4) 規則を考慮した比率。また、欧州議会・理事会規則 Regulation (EU) No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う

⁴ 特定の銀行業務の税金および拠出金は、通期に関わる全額を第 1 四半期に計上

⁵ 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会 (EC) 委任法令に基づき算定された比率

グループの自己資本規制に関わる比率の推移は、グループが事業成長を通して着実に自己資本を積上げていること、および、規制変更に対応して規律を持ってバランスシートを管理する能力があることを証明しています。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「当四半期はとりわけ厳しい市場環境に直面しながらも、顧客ニーズへの対応に照準をあわせた事業の地理的分散化と業態多様化の恩恵を受けて、グループの営業収益は底堅く推移しました。営業費用は厳格に抑制され、リスク費用は大幅に減少しました。

グループのバランスシートは盤石です。さらに、バーゼル3全面適用のエクイティ Tier 1 比率が 11.0%へと上昇したことは、グループが事業成長を通して着実に自己資本を積み上げていることを証明しています。

2014-2016 年度事業計画が掲げる目標に沿った純利益の成長が当四半期にも達成され、BNP パリバの全従業員への貢献に感謝の意を表します。」

連結損益計算書

	1Q16	1Q15	1Q16 / 1Q15	4Q15	1Q16/ 4Q15
(単位：百万ユーロ)					
営業収益	10,844	11,065	-2.0%	10,449	+3.8%
営業費用および減価償却費	-7,627	-7,808	-2.3%	-7,406	+3.0%
営業総利益	3,217	3,257	-1.2%	3,043	+5.7%
リスク費用	-757	-1,044	-27.5%	-968	-21.8%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	n.s.	-100	n.s.
営業利益	2,460	2,213	+11.2%	1,975	+24.6%
持分法による投資損益	154	137	+12.4%	154	n.s.
その他営業外項目	24	202	-88.1%	-656	n.s.
営業外損益	178	339	-47.5%	-502	n.s.
税引前利益	2,638	2,552	+3.4%	1,473	+79.1%
法人税	-720	-811	-11.2%	-719	+0.1%
少数株主帰属純利益	-104	-93	+11.8%	-89	+16.9%
株主帰属純利益	1,814	1,648	+10.1%	665	n.s.
営業収益対コスト比率	70.3%	70.6%	-0.3 pt	70.9%	-0.6 pt

BNP パリバの2016年度第1四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。

2016年度第1四半期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位：百万ユーロ)							
営業収益	3,844	3,696	2,686	10,226	618	10,844	
	対前年同期比	+0.6%	-0.7%	-18.9%	-5.8%	n.s.	-2.0%
	対前四半期比	+1.6%	-5.3%	+2.8%	-0.7%	n.s.	+3.8%
営業費用および減価償却費	-2,745	-2,442	-2,258	-7,445	-182	-7,627	
	対前年同期比	+2.2%	+2.2%	-8.8%	-1.4%	-29.4%	-2.3%
	対前四半期比	+3.8%	+1.6%	+14.3%	+6.0%	-52.2%	+3.0%
営業総利益	1,099	1,254	428	2,782	435	3,217	
	対前年同期比	-3.2%	-5.9%	-48.9%	-15.9%	n.s.	-1.2%
	対前四半期比	-3.3%	-16.4%	-32.7%	-15.0%	n.s.	+5.7%
リスク費用	-398	-339	-28	-766	9	-757	
	対前年同期比	-18.4%	-26.6%	-70.5%	-26.8%	n.s.	-27.5%
	対前四半期比	-15.5%	-17.3%	-54.7%	-18.9%	n.s.	-21.8%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	対前年同期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	対前四半期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
営業利益	701	915	400	2,016	444	2,460	
	対前年同期比	+8.2%	+5.1%	-46.1%	-10.8%	n.s.	+11.2%
	対前四半期比	+5.3%	-16.0%	-30.3%	-13.4%	n.s.	+24.6%
持分法による投資損益	9	127	-3	133	21	154	
その他営業外項目	-2	10	6	14	10	24	
税引前利益	708	1,052	403	2,163	475	2,638	
	対前年同期比	+11.0%	+6.8%	-54.5%	-13.8%	n.s.	+3.4%
	対前四半期比	+4.1%	-12.8%	-27.7%	-11.5%	n.s.	+79.1%

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位：百万ユーロ)							
営業収益	3,844	3,696	2,686	10,226	618	10,844	
	前年同期	3,821	3,722	3,313	10,856	209	11,065
	前四半期	3,782	3,903	2,612	10,298	151	10,449
営業費用および減価償却費	-2,745	-2,442	-2,258	-7,445	-182	-7,627	
	前年同期	-2,685	-2,389	-2,475	-7,550	-258	-7,808
	前四半期	-2,646	-2,403	-1,976	-7,025	-381	-7,406
営業総利益	1,099	1,254	428	2,782	435	3,217	
	前年同期	1,136	1,333	838	3,307	-50	3,257
	前四半期	1,137	1,500	636	3,273	-230	3,043
リスク費用	-398	-339	-28	-766	9	-757	
	前年同期	-488	-462	-96	-1,046	2	-1,044
	前四半期	-471	-411	-63	-944	-24	-968
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	前年同期	0	0	0	0	0	0
	前四半期	0	0	0	0	-100	-100
営業利益	701	915	400	2,016	444	2,460	
	前年同期	648	871	742	2,261	-47	2,213
	前四半期	666	1,089	574	2,329	-354	1,975
持分法による投資損益	9	127	-3	133	21	154	
	前年同期	5	109	8	122	15	137
	前四半期	21	117	10	149	5	154
その他営業外項目	-2	10	6	14	10	24	
	前年同期	-15	5	136	126	76	202
	前四半期	-7	0	-27	-34	-622	-656
税引前利益	708	1,052	403	2,163	475	2,638	
	前年同期	638	985	885	2,509	43	2,552
	前四半期	680	1,206	558	2,443	-970	1,473
法人税							-720
少数株主帰属純利益							-104
株主帰属純利益							1,814

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
グループ					
営業収益	10,844	10,449	10,345	11,079	11,065
営業費用および減価償却費	-7,627	-7,406	-6,957	-7,083	-7,808
営業総利益	3,217	3,043	3,388	3,996	3,257
リスク費用	-757	-968	-882	-903	-1,044
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	-100	0	0	0
営業利益	2,460	1,975	2,506	3,093	2,213
持分法による投資損益	154	154	134	164	137
その他営業外項目	24	-656	29	428	202
税引前利益	2,638	1,473	2,669	3,685	2,552
法人税	-720	-719	-770	-1,035	-811
少数株主帰属純利益	-104	-89	-73	-95	-93
株主帰属純利益	1,814	665	1,826	2,555	1,648
営業収益対コスト比率	70.3%	70.9%	67.2%	63.9%	70.6%



(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く					
営業収益	7,522	7,681	7,582	7,719	7,571
営業費用および減価償却費	-5,187	-5,049	-4,701	-4,636	-5,074
営業総利益	2,335	2,632	2,881	3,082	2,496
リスク費用	-738	-882	-837	-865	-950
営業利益	1,598	1,750	2,045	2,218	1,546
持分法による投資損益	136	138	117	139	115
その他営業外項目	8	-8	20	-2	-10
税引前利益	1,742	1,881	2,182	2,355	1,651
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	48.7	48.4	48.4	48.3	47.7
(単位: 百万ユーロ)					
リテールバンキングおよびサービス事業					
営業収益	7,540	7,685	7,580	7,713	7,543
営業費用および減価償却費	-5,187	-5,049	-4,701	-4,636	-5,074
営業総利益	2,353	2,637	2,879	3,077	2,469
リスク費用	-738	-882	-837	-865	-950
営業利益	1,616	1,755	2,042	2,212	1,519
持分法による投資損益	136	138	117	139	115
その他営業外項目	8	-8	20	-2	-10
税引前利益	1,760	1,885	2,180	2,349	1,623
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	48.7	48.4	48.4	48.3	47.7
(単位: 百万ユーロ)					
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く					
営業収益	3,963	3,905	3,920	3,982	3,991
営業費用および減価償却費	-2,818	-2,713	-2,526	-2,398	-2,755
営業総利益	1,145	1,191	1,394	1,584	1,235
リスク費用	-399	-471	-419	-433	-490
営業利益	746	721	975	1,152	745
持分法による投資損益	9	22	14	9	5
その他営業外項目	-2	-7	-7	-4	-15
税引前利益	753	735	981	1,156	736
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-63	-60	-71	-72	-70
国内市場部門税引前利益	690	675	911	1,084	666
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	22.9	22.7	22.6	22.6	22.6
(単位: 百万ユーロ)					
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,844	3,782	3,781	3,842	3,821
営業費用および減価償却費	-2,745	-2,646	-2,459	-2,336	-2,685
営業総利益	1,099	1,137	1,322	1,506	1,136
リスク費用	-398	-471	-420	-432	-488
営業利益	701	666	902	1,074	648
持分法による投資損益	9	21	14	9	5
その他営業外項目	-2	-7	-7	-4	-15
税引前利益	708	680	908	1,078	638
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	22.9	22.7	22.6	22.6	22.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
フランス国内リテールバンキング（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む）*					
営業収益	1,661	1,608	1,649	1,663	1,646
うち受取利息純額	972	951	959	929	934
うち手数料	689	657	690	734	713
営業費用および減価償却費	-1,173	-1,207	-1,172	-1,097	-1,164
営業総利益	488	401	477	565	483
リスク費用	-73	-88	-79	-87	-89
営業利益	415	313	398	478	394
営業外損益	1	1	1	1	1
税引前利益	416	314	398	479	395
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-39	-34	-41	-43	-42
フランス国内リテールバンキング税引前利益	377	281	358	436	353
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.6	8.3	8.3	8.3	8.3
(単位：百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
フランス国内リテールバンキング（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む）* PEL/CELの影響を除く					
営業収益	1,643	1,603	1,651	1,668	1,674
うち受取利息純額	954	946	961	935	961
うち手数料	689	657	690	734	713
営業費用および減価償却費	-1,173	-1,207	-1,172	-1,097	-1,164
営業総利益	470	396	479	571	510
リスク費用	-73	-88	-79	-87	-89
営業利益	397	308	400	484	422
営業外損益	1	1	1	1	1
税引前利益	398	309	401	485	422
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-39	-34	-41	-43	-42
フランス国内リテールバンキング税引前利益	359	276	360	442	380
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.6	8.3	8.3	8.3	8.3
(単位：百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
フランス国内リテールバンキング（フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	1,588	1,539	1,576	1,588	1,570
営業費用および減価償却費	-1,139	-1,173	-1,141	-1,065	-1,130
営業総利益	450	367	436	523	440
リスク費用	-73	-87	-79	-87	-88
営業利益	377	280	357	436	352
営業外損益	1	1	1	1	1
税引前利益	377	281	358	436	353
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.6	8.3	8.3	8.3	8.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
BNL バンカ・コメルシアール(イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む)*					
営業収益	737	781	763	797	809
営業費用および減価償却費	-462	-550	-446	-443	-464
営業総利益	275	230	317	354	345
リスク費用	-274	-300	-309	-318	-321
営業利益	1	-70	8	36	24
営業外損益	0	0	0	0	-1
税引前利益	1	-70	8	36	23
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-10	-10	-9	-11	-10
BNL バンカ・コメルシアール税引前利益	-8	-80	-1	24	13
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.0	6.5	6.5	6.5	6.6

(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
BNL バンカ・コメルシアール(イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	718	762	745	777	790
営業費用および減価償却費	-453	-541	-437	-434	-455
営業総利益	265	221	308	342	335
リスク費用	-274	-301	-309	-318	-321
営業利益	-8	-80	-1	24	14
営業外損益	0	0	0	0	-1
税引前利益	-8	-80	-1	24	13
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.0	6.5	6.5	6.5	6.6

(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む)*					
営業収益	917	882	880	893	897
営業費用および減価償却費	-791	-588	-576	-525	-773
営業総利益	126	295	305	368	123
リスク費用	-21	-52	2	-2	-34
営業利益	106	243	306	366	90
持分法による投資損益	-4	3	3	5	-1
その他営業外項目	0	5	-7	-4	-13
税引前利益	102	250	303	367	76
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-14	-14	-20	-17	-17
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	88	235	283	350	60
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4

(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	875	846	838	856	852
営業費用および減価償却費	-763	-565	-551	-506	-747
営業総利益	112	280	286	350	105
リスク費用	-20	-52	0	-1	-32
営業利益	92	228	286	349	73
持分法による投資損益	-4	3	3	5	-1
その他営業外項目	0	5	-7	-4	-13
税引前利益	88	235	283	350	60
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む)*					
営業収益	666	638	625	624	611
営業費用および減価償却費	-393	-368	-332	-332	-354
営業総利益	273	270	293	292	257
リスク費用	-31	-31	-33	-26	-47
営業利益	242	240	260	266	210
持分法による投資損益	12	18	10	3	5
その他営業外項目	-2	-13	0	0	-1
税引前利益	252	245	270	269	214
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-1	-1	-1	-1
その他国内市場部門税引前利益	251	244	269	267	213
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.8	3.5	3.4	3.4	3.3

(単位：百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	663	636	622	621	608
営業費用および減価償却費	-391	-366	-330	-331	-353
営業総利益	272	269	292	290	255
リスク費用	-31	-31	-33	-26	-47
営業利益	241	238	259	265	209
持分法による投資損益	12	18	10	3	5
その他営業外項目	-2	-13	0	0	-1
税引前利益	251	244	269	267	213
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.8	3.5	3.4	3.4	3.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
国際金融サービス部門					
営業収益	3,696	3,903	3,799	3,871	3,722
営業費用および減価償却費	-2,442	-2,403	-2,242	-2,300	-2,389
営業総利益	1,254	1,500	1,558	1,571	1,333
リスク費用	-339	-411	-417	-432	-462
営業利益	915	1,089	1,141	1,138	871
持分法による投資損益	127	117	103	131	109
その他営業外項目	10	0	27	2	5
税引前利益	1,052	1,206	1,272	1,271	985
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	25.8	25.7	25.7	25.7	25.0
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,149	1,161	1,174	1,164	1,161
営業費用および減価償却費	-609	-580	-545	-581	-609
営業総利益	540	581	629	583	552
リスク費用	-221	-309	-287	-288	-292
営業利益	319	273	342	295	260
持分法による投資損益	13	21	22	15	17
その他営業外項目	1	-1	0	2	-2
税引前利益	333	293	364	312	276
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	4.8	4.5	4.5	4.4	4.2
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む) *					
営業収益	608	626	617	663	609
営業費用および減価償却費	-432	-444	-404	-408	-452
営業総利益	176	183	213	255	158
リスク費用	-96	-96	-112	-109	-150
営業利益	80	87	101	146	8
持分法による投資損益	50	46	44	42	42
その他営業外項目	2	1	0	-2	1
税引前利益	132	134	145	186	51
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-1	-1	-1	-1
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	132	133	145	185	51
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.1	5.4	5.4	5.4	5.3
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	606	625	614	661	607
営業費用および減価償却費	-431	-442	-403	-406	-450
営業総利益	176	182	212	254	157
リスク費用	-96	-96	-112	-109	-150
営業利益	80	86	100	145	8
持分法による投資損益	50	46	44	42	42
その他営業外項目	2	1	0	-2	1
税引前利益	132	133	145	185	51
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.1	5.4	5.4	5.4	5.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) *					
営業収益	773	735	702	731	667
営業費用および減価償却費	-534	-481	-465	-466	-470
営業総利益	239	253	237	265	197
リスク費用	-25	4	-19	-16	-19
営業利益	214	257	218	249	178
持分法による投資損益	0	0	0	0	0
その他営業外項目	10	2	25	1	3
税引前利益	225	260	243	250	180
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-3	-3	-3	-2	-2
バンクウエスト税引前利益	221	257	240	248	178
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.4	6.3	6.3	6.3	6.0
(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	762	724	692	721	658
営業費用および減価償却費	-526	-474	-457	-459	-463
営業総利益	236	250	234	262	195
リスク費用	-25	4	-19	-16	-19
営業利益	211	255	215	247	175
営業外損益	10	2	25	1	3
税引前利益	221	257	240	248	178
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.4	6.3	6.3	6.3	6.0
(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
保険					
営業収益	456	604	579	562	575
営業費用および減価償却費	-309	-302	-278	-276	-301
営業総利益	147	302	301	286	275
リスク費用	-1	-4	2	-4	0
営業利益	146	298	304	282	275
持分法による投資損益	55	40	28	60	42
その他営業外項目	-3	-1	0	1	0
税引前利益	199	337	332	343	316
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	7.4	7.4	7.3	7.3	7.3
(単位: 百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ウェルス&アセット・マネジメント					
営業収益	723	789	739	764	720
営業費用および減価償却費	-567	-605	-558	-579	-566
営業総利益	156	184	181	185	154
リスク費用	3	-7	-1	-16	-1
営業利益	159	177	180	169	153
持分法による投資損益	8	11	10	14	8
その他営業外項目	0	-3	2	0	3
税引前利益	167	185	191	183	165
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ホールセールバンキング事業					
営業収益	2,686	2,612	2,567	3,014	3,313
営業費用および減価償却費	-2,258	-1,976	-1,955	-2,051	-2,475
営業総利益	428	636	612	963	838
リスク費用	-28	-63	-40	-14	-96
営業利益	400	574	572	948	742
持分法による投資損益	-3	10	2	13	8
その他営業外項目	6	-27	-2	20	136
税引前利益	403	558	573	981	885
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	21.9	21.6	21.6	21.5	20.6
コーポレートバンキング					
営業収益	929	1,126	877	1,015	988
営業費用および減価償却費	-693	-606	-584	-611	-669
営業総利益	236	520	293	404	319
リスク費用	-55	-69	-50	55	-73
営業利益	181	451	243	459	246
営業外損益	0	-10	-1	32	139
税引前利益	181	441	242	491	385
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	12.2	11.4	11.4	11.3	11.0
グローバルマーケット					
営業収益	1,318	1,053	1,245	1,526	1,886
うちFICC	890	682	766	900	1,159
うち株式およびプライムサービス	428	371	478	626	728
営業費用および減価償却費	-1,184	-980	-1,001	-1,073	-1,450
営業総利益	134	73	243	453	436
リスク費用	27	4	11	-72	-23
営業利益	160	77	254	380	413
持分法による投資損益	-4	6	4	2	6
その他営業外項目	6	-12	-2	0	-1
税引前利益	163	72	256	382	418
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	9.1	9.5	9.5	9.5	9.0
証券管理					
営業収益	440	433	444	473	439
営業費用および減価償却費	-382	-390	-369	-368	-356
営業総利益	59	43	75	106	83
リスク費用	0	3	0	3	0
営業利益	59	45	75	109	83
営業外損益	0	0	0	0	0
税引前利益	59	45	75	109	83
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6



(単位：百万ユーロ)

	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
コーポレート・センター					
営業収益	618	151	198	352	209
営業費用および減価償却費	-182	-381	-302	-395	-258
うち事業再編、変革および適応費用	-46	-286	-160	-217	-130
営業総利益	435	-230	-103	-43	-50
リスク費用	9	-24	-6	-24	2
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	-100	0	0	0
営業利益	444	-354	-109	-67	-47
持分法による投資損益	21	5	14	12	15
その他営業外項目	10	-622	11	410	76
税引前利益	475	-970	-84	354	43



連結貸借対照表 — 2016年3月31日現在

(単位: 百万ユーロ)	2016年3月31日	2015年12月31日
資産		
現金および中央銀行預け金	147,010	134,547
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	154,215	133,500
貸出金および売戻契約	169,825	131,783
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品	82,078	83,076
デリバティブ金融商品	363,226	336,624
ヘッジ目的デリバティブ	20,425	18,063
売却可能金融資産	261,126	258,933
金融機関貸出金および債権	42,665	43,427
顧客貸出金および債権	691,620	682,497
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	8,235	4,555
満期保有目的金融資産	7,638	7,757
当期および繰延税金資産	7,705	7,865
未収収益およびその他の資産	121,613	108,018
持分法投資	7,207	6,896
投資不動産	1,853	1,639
有形固定資産	21,371	21,593
無形固定資産	3,160	3,104
のれん	10,049	10,316
資産合計	2,121,021	1,994,193
負債		
中央銀行預金	5,761	2,385
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	83,830	82,544
借入金および買戻契約	193,744	156,771
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品	50,590	53,118
デリバティブ金融商品	352,572	325,828
ヘッジ目的デリバティブ	22,105	21,068
金融機関預金	94,016	84,146
顧客預金	710,173	700,309
負債証券	167,210	159,447
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	7,940	3,946
当期および繰延税金負債	3,375	2,993
未払費用およびその他の負債	112,387	88,629
保険会社の責任準備金	186,788	185,043
偶発債務等引当金	11,364	11,345
劣後債	16,691	16,544
負債合計	2,018,546	1,894,116
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	90,220	82,839
株主帰属当期純利益	1,814	6,694
資本金等、利益剰余金および株主帰属当期純利益合計	92,034	89,533
資本に直接認識される資産および負債の変動	6,515	6,736
株主資本	98,549	96,269
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	3,810	3,691
資本に直接認識される資産および負債の変動	116	117
少数株主持分合計	3,926	3,808
連結資本合計	102,475	100,077
負債および資本合計	2,121,021	1,994,193

当四半期の厳しい環境にも関わらず事業成長による着実な自己資本の積上げ	2
リテールバンキングおよびサービス事業	4
国内市場部門	4
国際金融サービス部門	7
ホールセールバンキング事業 (CIB)	10
コーポレート・センター	11
財務構造	11
連結損益計算書	13
2016 年度第 1 四半期 – コア事業別業績	14
連結四半期業績の推移	15
連結貸借対照表 – 2016 年 3 月 31 日現在	24

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2016 年 3 月 29 日に、BNP パリバは 2015 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には特に以下の事項が反映されています。(i) 各業務部門に配賦される資本金を、リスク加重資産に対してそれまでの 9%から 11%へと増強しました。(ii) グループが発行するその他 Tier 1 資本証券および Tier 2 負債証券の劣後特約に関わる費用を事業部門や業務部門に負担させ、コーポレート・センターと業務部門との間で発生する流動性について、その請求方法および報酬の決定方法を見直すとともに、CIB 財務部門の活動により生じる営業収益および営業費用の配賦方法を改変しました。(iii) 単一破綻処理基金への拠出金、フランスのシステミックリスク税の負担、BNL bc およびルクセンブルク国内リテールバンキングに関わる預金保険基金への新たな拠出金については、一時的にコーポレート・センターの営業費用として計上していましたが、これらを事業部門および業務部門へ配賦しました。(iv) 一部の業務および業績が、グループ内部で移管あるいは振替えられました。2015 年度四半期業績の数値は、あたかもこれらの取引が 2015 年 1 月 1 日に実施されたかのように反映し修正されています。本プレゼンテーションは、修正された 2015 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process: SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバグループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。